



舞鶴市役所前での抗議行動

# 再稼働ありきの舞鶴市議会に 傍聴と、雨の中の抗議行動

12月25日(火)、舞鶴市議会本会議の傍聴と抗議行動のため舞鶴市役所に向かった。同市の原子力防災・安全等特別委員会が22日、老朽

原発高浜1、2号機の再稼働容認を求める請願(舞鶴商工会議所提出)を賛成多数で採択すべきと決定し、25日の本会議で採択されることを知った。緊急行動だった。

議会を傍聴して思ったのは、各地の原発賛成派は全く同じ理由で再稼働を求めるということだ。「国策だから」「規制委員会が認めたから」「地域の経済発展に不可欠だから」。そして、「責任は国に

ある」と。討論の中で何度「世界一厳しい規制基準」を発したことか。その「世界一厳しい基準」で認可した原発が、どれだけ頻繁に事故を起こしているか、それを検証しようなどという気は毛頭ない。共産党の議員(4名)だけが反対した。反対討論に、傍聴席から拍手をしたら、議員や市の担当役職者が奇異の目で私たちを見つめていた。

高浜原発のPAZ内に住民が居住し、市全体がUPZ内にあるという全国でも唯一の自治体である舞鶴市は、住民の命と安全を守るという立場に立つべきではないか。再稼働の容認を求める請願に、「高浜原発関連で、舞鶴市民約2000人の雇用があり、地域経済を支えている」というくだりがあるが、「原発重大事故が起こったら、経済は

# 老朽原発 うごかすな！ ニュース

第33号

発行・老朽原発うごかすな！  
実行委員会

【連絡先】  
090-1965-7102

破綻し、経済どころか舞鶴市は「度と戻れない故郷になる。」なぜ、そのような視点がないのか。

議会は、「再稼働を容認する決議」及び、国に対して、立地自治体と同様の対応(再稼働同意権、財政支援、環境整備等)を求める「意見書」を採択した。

たったの5人での傍聴・抗議行動だったが、早朝から市役所前で横断幕を張り、旗を掲げながら雨の中で、全員が思いのたけを語り、シュプレヒコールを響かせ、道行く人の職員などにアピールした。

# 美浜3号機 再稼働させるな！ 老朽原発うごかすな！

12月9日、美浜駅前を出発して、美浜町役場、関電原子力事業本部への申し入れ、抗議行動に参加してきました。この行動は11月23日、大阪の関電本社前を出発し、京都からびわ湖西岸を通って美浜までの200キロをつなぐ

議会の運営も、「見ているぞ！」という圧力をかけることは必要だと、この間の行動で感じた。

この数年間、主に東舞鶴のアメーバデモで、チラシ配布しながら聴いた住民の方々の声が頭の中をぐるぐる巡っていた。「原発はいらん。高浜町の人より、私の家は原発に近いんや。」「電気代が多少上がったとしても、原発をやめてほしい。」など。議員ならそういう声を聞いて行動してほしい。

(若狭の原発を考える会 橋田秀美)

リレーデモの最終日でした。この日のデモは、13時に美浜駅前から出発しました。美浜駅前には関西各地や岐阜、東京などから来た参加者が200名を越えました。小さな駅前広場は旗や幟、横断幕をもった人々で埋め尽くされま



美浜町を、威風堂々200人のデモが (20.12.9)

した。2列になって線路沿いを西へ向かい、遙かに美浜原発が見えるところでストップ。実行委の音頭で、皆は原発に向かつて声を限りのシュプレヒコール。「老朽原発うごかすな!」「原発なくても電気は足りてる」「若狭の海を守ろう!びわ湖を守ろう!」。コールに合わせて太鼓が鳴らされ、鳴り物も吹かれました。判りやすい、的確なコールに思わず力がこもります。デモ隊列は2時前に美浜町役場前の歩道でとまりました。

この日の午前中に美浜町議会

の特別委で美浜3号機の再稼働を求める請願が採択され、15日の本会議へと回されました。地元の商工団体や観光協会など自民党系の団体からの請願です。政府と関電は老朽原発の高浜1・2号機と美浜3号機の稼働に向けて突き進んでいます。3基とも建設後40年を超える極めて危険な老朽原発です。「原発の稼働は原則40年。例外的に20年間の延長」としていたのを、関電は旗振り役となってこの例外規定を取っ払おうとしています。関電はモラルも倫理も全く崩壊しています。そんな会社が老朽原発を動かすなんて、考えただけでもぞつとしますが、原子力規制委は関電の申請通りに3基の稼働を早々と承認しています。全くザル委員会です。

歩道上で行われた小集会では、河本町議(共産党)と松下町議(無所属)の2人が、本会議でも反対で頑張ると決意表明されました。15日の本会議でも美浜3号機の再稼働には、13名のうち3名が反対しました。長年、原発反

対は共産党町議1人だけでしたが、私たちの声は確実に届き始めています。

戸嶋町長は「万一事故が起きた時の責任は国と関電にあり、美浜町には何の責任もない」と言っているそう。呆れた発言ですが、重圧は感じているようです。そのほかにも色々な方が発言されましたが、小浜の住職の中島哲演さんが、12月4日の大阪地裁の判決の意義を嬉しそうに語っておられたのが印象に残りました。

1時間ほどで町役場前での小集会を終わり、次の関電原子力事業本部へと向かいました。

2004年5月、美浜3号機の二次冷却水の配管が破裂し、作業員5名が死亡、6名が重軽傷という大きな事故が起こりました。この事故を契機に関電は原発事業を独立させ、美浜に事業本部を設立しました。しかし、ここが高浜町、森山元助役による関電幹部へのワイロ工作の格好の場となりました。原発はどこまで行っても「ダーティな金」にまみれてしか存在しえない

シロモノなのです。

正面玄関とその西側の車輛出入り口にはガードマンと県警の警察官が立ち並びものものしい雰囲気。ふと見上げる正面上部の壁面に大きな看板が掲げてありました。そこには「安全を守る。それは私の使命、わが社の使命の行動宣言のもと、会社をあげて安全文化を」と書かれてありま

した。こんな看板を掲げるとは、どこまでも破廉恥な会社です。

ここでも40分ほどの抗議集会。岐阜や東京から来た方々がマイクを握り、関電に怒りの声をあげました。そして16時にこの日の行動を終えました。

(丹波市9条の会連絡会 江渡 續)

# 1月24日 再々度、関西電力本店を包囲しよう!

「老朽原発うごかすな!」の声を、関西電力に叩きつけよう。使用済み核燃料貯蔵施設問題を解決できないまま老朽原発の運転を進めようとする、人々の安全や安心を顧みない身勝手さばかりない関西電力を糾弾しよう!

橋駅/京阪中之島線渡辺橋

- 主権 老朽原発うごかすな! 実行委員会
- 連絡先 木原壯林(090・1965・7102)

集会后梅田までデモをして訴えよう!

●日時 1月24日 (日) 午後1時半

●場所 関西電力本店前(地下鉄肥後)

1/24 (日)

24

関電よ※ 老朽原発 うごかすな! 大集会

(梅田のウチを良くくばる)

●日時 1月24日 13:30

●場所 関電本店前 (地下鉄肥後橋駅/京阪中之島線渡辺橋)

●主催 老朽原発うごかすな! 実行委員会

●連絡先 木原壯林 090-1965-7102

●概要

●集合 13:30~14:15

●終了後 歩いて西梅田公園まで移動

●西梅田公園からデモスタート (梅田まで75分程度)

●解散 16:00頃

主催★老朽原発うごかすな! 実行委員会

7Dログ執筆 老朽原発うごかすな! 実行委員会